事務局記入欄

受付日：　　　月　　日

**令和4年度厚生労働省補助金事業　看護業務効率化先進事例収集・周知事業**

**「看護業務の効率化試行支援事業」　応募申込書**

ご記入に際しては、事前に募集要項を必ずご確認ください。

1. **基本情報３**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名等 | 設置主体 |  |
| 施設名 | ふりがな |
|  |
| 施設種別 | □病院　　　　　　□診療所（□有床・□無床）　　□訪問看護ステーション　□介護老人福祉施設（特養）　　□介護老人保健施設（老健）□介護医療院　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 許可病床数／入所定員数等 |  | 主たる入院基本料（病院のみ） |  |
| 従業員数 | 人 | うち看護職員数 | 人 |
| 住所 | ふりがな |
| 〒 |
| 担当者氏名 | ふりがな | 所属 |  |
|  | 職位 |  |
| 連絡先 | （TEL）　　　　　　　　　　　　　　 | （FAX） |
| （E-mail） |

1. **施設責任者の同意**

応募に際しては施設長および看護部門責任者のご了承の上、記名・押印をお願いいたします。

2022年　　　月　　　日

施設長　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

看護部門責任者：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

**看護業務の効率化試行支援事業　実施計画書**

1. **取組のテーマ・目的　（以下の項目より選択・複数選択可）**
* 業務量の減少・削減
* 1つの業務に要する時間の短縮
* 時間外業務時間の削減
* 費用の削減（時間外勤務削減により人件費が削減した、物品購入等などのランニングコストが削減した等の費用の削減を指す）
* 有給休暇取得状況の改善
* 看護の質の向上
* チームの連携の向上
* 患者・利用者の満足度の向上
* 看護職の満足度の向上
* 他職種の満足度の向上
* 看護職の人員配置の最適化
* 看護職の身体的負担の軽減
* 看護職の精神的負担の軽減
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
1. 上記のテーマ・目的における貴施設の現状と課題

|  |
| --- |
| 現状：課題： |

1. 課題解決に向けた目標

目標を選択し、具体的な数値目標を少なくとも1つは入れてください。

（目指すべき数値の例）　時間外業務○時間を2023年○月までに○時間以内にする

|  |  |
| --- | --- |
| 目標 | 目指すべき数値 |
| * 業務量の減少・削減
 |  |
| * 1つの業務に要する時間の短縮
 |  |
| * 費用の削減

時間外勤務削減により人件費が削減した、物品購入等などのランニングコストが削減した等の費用の削減を指す |  |
| * 時間外業務時間の削減
 |  |
| * 有給休暇取得状況の改善
 |  |
| * 看護職の身体的負担の軽減
 |  |
| * 看護職の精神的負担の軽減
 |  |
| □　その他（　　　　　　　　　　　　） |  |

1. 選考する取組についての貴施設での現状

□ すでに応募内容と同様の取組を実施しているが、さらなる看護業務効率化の実現に向

けた支援を希望する施設

□ 今年度、試行を実施したい

□ 次年度、実施に向けた準備のための支援を受けたい

1. **取組事業の選択**

同様の内容（一部もしくは全て）を実施したい取組を１つ選択し左欄に○をご記入ください。取組の詳細は、「看護業務効率化先進事例収集・周知事業ポータルサイトをご参照ください。（ https://www.kango-award.jp/ ）

|  |
| --- |
| **業務改善** |
|  | ① | 「ユニフォーム2色制」と「ポリバレントナース育成」による持続可能な残業削減への取組（一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター） |
|  | ② | 外来病棟一元化による勤務環境改善　（国民健康保険 小松市民病院） |
|  | ③ | 排尿ケアチームの立ち上げ～患者のQOL向上を目指して～（社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院） |
|  | ④ | 整形外科分野における術後病衣の工夫（医療法人社団おると会 浜脇整形外科病院） |
|  | ⑤ | 看護記録に要する時間削減の効率化への取組　‐記録内容の標準化とリアルタイム記録に焦点を当てて‐（県立広島病院） |
|  | ⑥ | 総合滅菌管理システムによる労働生産性の向上と働き方改革の実現（福井大学医学部附属病院） |
|  | ⑦ | チーム医療による新たな手術室運営方法の確立～組織を巻き込んだ3カ年計画の取組を通して～（広島県厚生農業協同組合連合会 廣島総合病院） |
|  | ⑧ | ICTツール×ウエブ会議最大活用による業務効率化への取組（株式会社デザインケア みんなのかかりつけ訪問看護ステーション） |
|  | ⑨ | 時間外支援夜勤の導入－長年課題だった看護師の夜勤負担軽減への取組－（医療法人共栄会 名手病院） |
|  | ⑩ | 改善活動の推進による働き続けられる職場環境づくり～広島県版自己点検ツール「チャレンジ」を活用した3か年に亘る業務改善の取組～（医療法人和同会 広島シーサイド病院） |
|  | ⑪ | 看護師のケアマネジメント力を介護負担軽減と二次障害の予防に活かす～老人介護施設における看護師の役割とノーリフト推進～（社会福祉法人弘陵福祉会 特別養護老人ホーム六甲の館） |
| **タスク・シフト/シェア、多職種連携** |
|  | ⑫ | 病棟薬剤師との役割委譲・協働による病棟薬剤管理業務の見直し（社会医療法人石川記念会 HITO病院） |
|  | ⑬ | 入退院支援の活動からつなぐ看護へ－外来でのスクリーニングを看護計画に直結させる－　（公立羽咋病院） |
|  | ⑭ | 職種間において協働意識を生み出す取組（医療法人健和会 柳原病院） |
|  | ⑮ | 障がい者ベッドメイキングチーム委託業務の導入（一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院） |
|  | ⑯ | 小児集中治療室で取り組む特定行為実践とタスクシフト～効率的で安全・安心な看護の提供を目指して～（東京都立小児総合医療センター） |
| **ＡＩ・ＩＣＴ等の技術の活用** |
|  | ⑰ | ウィズコロナでICT促進！～患者と家族をつなぐオンライン面会の取組～（社会医療法人柏葉会 柏葉脳神経外科病院） |
|  | ⑱※1 | 音声入力で時間短縮　残業を減らそう（訪問看護リハビリステーション アオアクア） |
|  | ⑲ | ナースハッピープロジェクト（NHP）音声入力による記録時間の削減（聖マリアンナ医科大学病院） |
|  | ⑳※1 | へき地におけるICTを活用した多職種連携（医療法人恵尚会佐呂間町立診療所 クリニックさろま） |
|  | ㉑ | RPA（ロボットによる業務自動化）導入による看護管理業務の効率化（NTT東日本関東病院） |
|  | ㉒ | 訪問看護におけるエコーによるアセスメント導入とICTを使った医師との連携（株式会社トラントユイット 訪問看護ステーションフレンズ） |
|  | ㉓ | 新型コロナウイルス感染症クラスター下での看護記録革命！～スマホ活用で問題解決～（社会医療法人柏葉会　柏葉脳神経外科病院） |
|  | ㉔ | 新型コロナウイルス感染症対応病棟における物品搬送ロボットの活用（学校法人日本医科大学 日本医科大学千葉北総病院） |
|  | ㉕ | 在宅サービス過疎地域における訪問看護ステーションの一元管理（社会医療法人孝仁会　訪問看護ステーションはまなす） |
|  | ㉖ | 新型コロナ感染症発熱外来におけるWeb問診による看護師の職業感染予防と業務負担軽減への取組の成果（稲沢市民病院） |
| **その他の工夫** |
|  | ㉗ | 小規模病院における看護クラーク科の立ち上げ・看護クラークの一元管理による看護師負担軽減　（医療法人社団協友会 メディカルトピア草加病院） |
|  | ㉘ | 看護補助者の退職者減少を目指した「看護補助者の拡大チーム」の編成と「看護補助者ラダー」の導入(学校法人北里研究所 北里大学病院) |
|  | ㉙ | 看護部働き方改革プロジェクト：「繁忙度表」を活用した「看護師長の病床・業務調整会」による人員の采配と応援体制づくり（公益財団法人東京都保健医療公社 東部地域病院） |

※1　⑱⑳については、当該施設の見学や施設担当者からの助言はできません。有識者・事務局による支援のみとなります。

※音声入力システムの導入、ICTを活用した取組等、組織のシステム変更に関わる取組は、運用までに時間を要することから、2ヵ年での試行実施をご検討ください。

1. **実施計画**

上記1、3) で「次年度、実施に向けた準備のための支援を受けたい」を選択した場合、実施計画は、2022年8月から2024年1月末までの計画としてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **2022年** | **8月** | （例）支援施設のとのWeb会議実施、試行内容の実施に向けた準備、施設内でワーキンググループを設置**・****・** |
| **9月** | （例）職員への説明会実施、試行内容の実施・・ |
| **10月** | （例）実施1カ月での状況を支援施設と共有・・ |
| **11月** | （例）実施内容について事務局へ中間報告、施設内での取組み状況の確認（ヒアリングや調査などを実施）、・・ |
| **12月** | （例）支援施設に取組の進捗状況を報告・今後の取組について相談・・ |
| **2023年** | **1月** | （例）施設内での取組み状況の確認（ヒアリングや調査などを実施）、施設内での成果報告、事務局への報告書提出準備・・ |

**看護業務の効率化試行支援事業　事業予算書**

作成にあたっては、P.9【「事業予算書」作成例】を参照してください。

上記1、3) で「次年度実施に向けた準備のための支援を受けたい」を選択した場合、2022年度、2023年度の事業予算書を提出してください（一部負担金額は、2カ年で上限50万円）。

（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 費目 | 内容 | 明細 | 金額（税込） | 備考 |
| 諸謝金 |  |  |  |  |
| 会議費 |  |  |  |  |
| 旅費交通費 |  |  |  |  |
| 印刷製本費 |  |  |  |  |
| 通信運搬費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 賃借料 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 合　計 |  | ― |

※支給額の上限は50万円（税込）です。総額が税込50万円を超える場合、不足する費用は貴施設の負担となります

※必要に応じて、行の追加・削除をしてください

【「事業予算書」作成例】

（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 費目 | 内容 | 明細 | 金額（税込） | 備考 |
| 諸謝金 | ・過年度受賞施設見学受賞施設支援担当者への謝金・過年度受賞施設訪問支援受賞施設支援担当者への謝金 | 10,000 円×2 時間×3名×1回10,000円×2時間×2名×1回 | 60,00040,000 |  |
| 会議費 | ・過年度受賞施設訪問支援時昼食・過年度受賞施設訪問支援時　研修用会場費 | 1,500円×1名×1回18,500×1回 | 1,50018,500 |  |
| 旅費交通費 | ・過年度受賞施設見学　旅費・過年度受賞施設訪問支援　受賞施設支援担当者の旅費 | 50,000円×3名×1名50,000円×2名×1回 | 150,000100,000 |  |
| 印刷製本費 | ・会議資料印刷・施設内アンケート用紙印刷・過年度受賞施設訪問支援時資料・啓発用ポスター印刷（50枚） | 100円×10部×6回5円×100部×1回100円×15セット×1回13,000円×1回 | 6,0005001,50013,000 |  |
| 通信運搬費 | ・過年度受賞施設への資料発送費（宅配便） | 1,000円×3回 | 3,000 |  |
| 消耗品費 | ・会議用資料ファイル | 100円×10枚×6回分 | 6,000 |  |
| 賃借料 | ・ユニフォームレンタル料（クリーニング費含む） | 2種類×20名分×5カ月 | 100,000 |  |
| 合　計 | 500,000 | ― |

※支給額の上限は50万円（税込）です。総額が税込50万円を超える場合、不足する費用は貴施設の負担となります

※必要に応じて、行の追加・削除をしてください

**看護業務の効率化試行支援事業　アンケートご協力のお願い**

●本事業への応募理由を教えてください

（例：残業過多による離職率が高い状況の中、昨年度ユニフォーム2色制の取組を知り自施設でも取り入れたいと考えたため。現在同様の取組を実施しており、実現可能性が高いため等）

●本事業で募集を行っていることをどのように知りましたか

□日本看護協会ウェブサイト

□日本看護協会機関紙「協会ニュース」

□日本看護協会が運営するSNS

□日本看護協会機関誌「看護」

□所属団体からのお知らせ等（所属団体名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□都道府県看護協会からのお知らせ等（都道府県名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　）

ご協力ありがとうございました

**■応募に関するお問い合わせ先■**

公益社団法人日本看護協会　労働政策部看護労働課

〒150-0001　東京都渋谷区神宮前5-8-2

TEL：03（5778）8553　／　FAX：03（5778）5602　／　E-mail：kangorodo@nurse.or.jp